

広域連合だより

構成市町村 日向市 門川町 美郷町 諸塚村 椎葉村

【第37号】

平成31年3月発行
日向東臼杵広域連合
〒883-0034
日向市大字富高2192
TEL(0982)53-3401
FAX(0982)52-7889
http://hyuga-kouiki.jp/

平成31年度予算が成立しました。

平成31年度予算額は6億500万円、前年度と比較し2,200万円（率にして3.8%）増加しました。主な事業内容については、下記のとおりです。

主な事業

一般管理事務（総務費）

広域連合の主に総務・財務に係る事務事業について、広域計画に掲げる基本方針に基づいた円滑な運営を図ります。また、構成市町村や関係機関との連携を図り、積極的な情報発信に努めます。

- 関係機関との連携（正副連合長会議、事務事業関係課長会、地元への業務説明会の開催）
- 情報の発信（広報紙「広域連合だより」の発行、ホームページの運用）

火葬場事務（斎場施設費）

東郷霊苑の火葬設備の経年劣化、また高温火葬による火葬設備の損傷が見受けられます。そのため、第2向日向地区斎場東郷霊苑管理運営中期計画に基づき、年次的に施設や設備を整備することで、適正で安定した火葬業務を行います。

- 維持補修工事（火葬炉1～5号炉二次冷却ファン等取替工事など）

最終処分場事務（最終処分場費）

次期最終処分場の建設に向けて、予定候補地予備調査の結果等を踏まえ、構成市町村課長会等において、今後の事業推進手順等について協議・検討を行います。

また、専門業者による現状等の分析や助言指導等を受け、事業の円滑な推進に努めます。

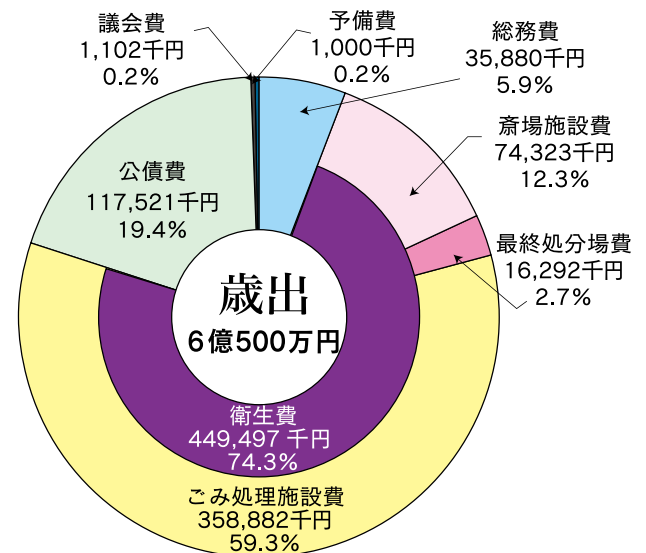
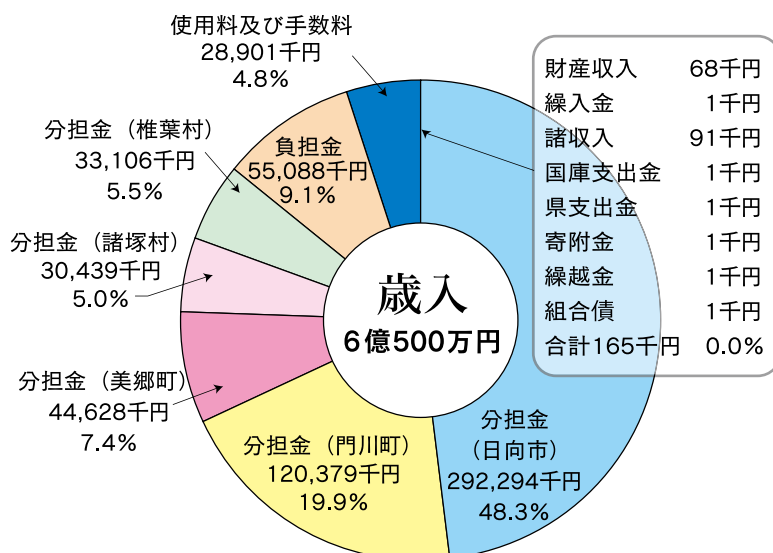
- 委託料（次期最終処分場整備アドバイザー業務）

ごみ処理施設事務（ごみ処理施設費）

清掃センターの経年劣化に伴い、損傷している設備機器類を長寿命化計画書に基づいて計画的に整備し、施設の更なる延命化及び公衆衛生の確保、ごみ処理に係る財政負担の軽減を図ります。

- 維持補修工事

（2号炉ガス冷却室ケーシング更新工事）



議会だより

平成30年第3回定例会

平成30年11月5日に開催されました。提案された議案は、3件でした。

公平委員会委員の選任について

黒木久遠委員の任期満了により新たに足立佳代さん(日向市公平委員会委員)が選任されました。

日向東臼杵広域連合情報公開条例の一部を改正する条例

「個人情報保護に関する法律」及び「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」が改正されたことに伴い、条例の一部を改正しました。

平成29年度歳入歳出決算

平成29年度決算は、歳入が5億9千904万8千円、歳出が5億7千995万円で、余剰金の1千909万8千円は全額基金に積み立てました。

○公平委員会委員の選任について

【原案通り同意】

○日向東臼杵広域連合情報公開

条例の一部を改正する条例

【原案通り可決】

○平成29年度歳入歳出決算

【原案通り認定】

一般質問

柏田公和 議員 (日向市選出)

問 「最終処分場の更新について」平成30年第1回定例会で門川町

に最終処分場用地を確保する旨の発言がされているが、用地確保に向けた現在の進捗について伺う。

答 現在の候補地については、予備調査を実施し地形的には問題ないと報告を受けている。日向市一般廃棄物最

終処分場の埋立残余容量等を注視しながら、構成市町村等と連携を密にし、専門業者等からの助言指導を受け、事業進捗に努めたい。

問 「清掃センターの管理運営について」

長寿命化計画に基づき、適正な維持管理が図られていると認識するが、次の3点について伺う。

①維持補修工事6千280万円の執行状況について。

②地元業者等の活用状況について。

③中長期的な改修を検討とあるが、検討すべき内容等の詳細について。



答 ①今年度、予算計上している焼却

炉出口シュート改修工事と1号主灰出しコンベヤ更新工事はすでに発注しており、今年度中に完成予定である。

②専門的な技術が必要とされる業務以外は、地元業者を最優先にして契約している。

岩切 裕 議員 (日向市選出)

問 「広域連合のこれからの在り方について」

現在、事務の共同処理、広域連携の手法は、多様になり広域連合制度発足時とは制度環境が異なっている。この変化を踏まえ、次の4点について伺う。

①広域連合の将来的な在り方に関しての、基本的な認識について。

②課題があるとすれば、何か。

③将来的な圏域の人口減少を踏まえた広域連携の在り方について。

④日向入郷圏域の広域行政のあるべき方向性について。

答 ①「第4次日向東臼杵広域連合広域計画」にある圏域住民の生活環境の保全等を図るため、安全で安定した施設の管理運営、住民サービスの向上、構成市町村や関係機関等との連携の充実を目指している。

②近年は、人口減少、少子高齢化、経済情勢等の変化において、広域的な取り組みの重要性は認識している。広域的に事務を処理するためには、日頃から住民と直接接し、現状を把握している構成市町村との連携・協力体制の強化が重要である。構成市町村が抱える事情と広域行政の一体的な事業の推進をどう調整していくかが、今後の課題である。



③広域連合の業務は、構成市町村の業務を共同処理することで、財政負担の軽減を図り、圏域住民への行政サービスを均一的に提供できると考えている。そのために、構成市町村の発展と福祉の向上を推進するため、限られた

財源と人的資源を超えた連携による効果的な施策の推進を図ることが、重要な役割になってくると考える。

④広域連合の役割は、地方分権の加速や、自治体の厳しい財政状況などを考えると、これまで以上に大きくなる認識する。現在の業務は規約に基づき処理しているが、社会情勢の変化を踏まえつつ、広域連合事務としての効率性、有効性、妥当性といった視点が求められており、どう対応していくのか、構成市町村等と十分に協議していく必要がある。

平成31年第1回定例会

平成31年2月14日に開催されました。提案された議案は、2件でした。

平成30年度補正予算（第1号）

斎場で燃料費及び光熱水費、最終処分場整備事業で負担金、ごみ処理施設で光熱水費が不足するため予算の組替を行いました。

また、職員人件費で職員手当等が不足するため予算の組替を行いました。

平成31年度当初予算

予算総額は、6億500万円で、前年度当初予算と比較して2千200万円（率にして3.8%）増加しました。

○平成30年度補正予算（第1号）

【原案通り可決】

○平成31年度当初予算

【原案通り可決】

一般質問

柏田公和 議員（日向市選出）

問 「第4次広域計画について」

①ごみ処理施設の設置、管理運営について、清掃センターの更新に関する考え方、方向性を問う。

②火葬場の設置、管理及び運営について、高齢者人口がピークに達する年度に対応できる火葬場の現状の維持管理を問う。

③広域計画の見直しについて、現段階で見直しの対象になる案件等の議論の経緯を問う。

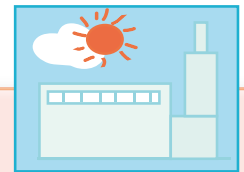
答 ①清掃センターは、既に27年が経過しているが、「長寿命化計画書」に基づき、基幹的設備改良工事を実施しており、平成35年度まで運用が可能である。清掃センターの更新は、多額の建設費用が必要となるため、更なる施設の延命化等を含めて協議が必要と考えている。

②東郷霊苑は、13年が経過しているが、平成28年3月に策定した「第2次日向地区斎場東郷霊苑管理運営中期計画」に基づき、安全で適正な施設の管理運営に努めている。今後も、高齢者人口、火葬件数の動向を注視しながら、対応可能な火葬件数が維持できるように、計画的な維持管理に努めたい。

③平成28年3月に策定した「第4次日向東白杵広域連合広域計画」について、計画期間を平成28年度から平成32年度までの5年間としており、平成32年度中に「日向東白杵広域連合広域計画策定等委員会」を開催し、本計画の見直しを行う予定である。現段階では、計画見直しに向けた具体的な協議は行っていないが、一般廃棄物最終処分場・火葬場・ごみ処理施設の管理、運営に関しては、構成市町村の事務事業関係課長会や正副連合長会議等において、必要に応じて協議をしている。



清掃センターの見学へ来てみませんか？



清掃センターには環境学習を目的として小学校の子どもたちが見学に訪れています。

学校関係を問わず、一般の方の見学も歓迎いたします。

清掃センターでは施設見学を随時受け入れていますのでご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

平成30年度は492名の方が、見学に来られました。ありがとうございました。

これからも、多くの皆さまのお越しをお待ちしております。

■見学案内 ごみの現状や処理の工程説明、施設見学 ■所要時間 1時間程度

■申し込み 電話で日時・団体名をご連絡ください。受付後、見学申請書を送付します。

見学申請書は、広域連合のホームページにも掲載しています。ご利用ください。

TEL(0982)53-3401 FAX(0982)52-7889



施設の説明を受ける子どもたち

	見学された学校・団体	人数
1	(株)吉見	2
2	(株)興電舎	17
3	日向市役所新入職員	14
4	草川小学校	62
5	財光寺小学校	75
6	財光寺南小学校	71
7	富高小学校	86
8	諸塚村内小学校4年生	16
9	門川小学校	71
10	五十鈴小学校	35
11	美郷町高齢者クラブ 長寿会	26
12	美郷町高齢者クラブ 親和会	17



ダイオキシン類等の測定結果をお知らせします



今年度の清掃センター測定結果は、いずれも基準値を大幅に下回っています。

今後も環境に配慮した施設の運営管理に努めます。

測定日

1号炉：平成30年 9月 6日

2号炉：平成30年10月17日

測定項目 (単位)	ダイオキシン類			一酸化炭素濃度 (ppm)	ばいじん濃度 (g/m ³ N)	塩化水素濃度 (mg/m ³ N)
	排ガス (ng-TEQ/m ³ N)	飛灰 (ng-TEQ/g)	焼却灰 (ng-TEQ/g)			
1号炉	0.026	0.20	0.00023	2	0.004未満	120
2号炉	0.07	0.17	0.00049	2	0.005未満	150
基準値	5	3	3	100	0.15	700

※ng(ナノグラム)とは10億分の1gのことです。

※TEQ(ティーイーキュー)とは毒性の強さを加味したダイオキシン量の単位です。

※m³N(立法メートルノルマル)とは、温度が0℃、圧力が1気圧の状態に換算した1m³を表します。

【編集後記】 平成29年4月より広域連合事務局に着任し、早いもので2年が過ぎようとしておりますが、自然、そして局員にも恵まれ充実した毎日を送っております。

広域連合は、ごみ処理施設をはじめ火葬場など生活する上で必要不可欠な施設の管理・運営をしており、あらためて重要な業務であると認識させられております。

今後も施設の適正な管理・運営に努め、広域住民のサービス向上を図ってまいります。(T)